

生命保険の更新、  
必ず確認を

**事例** 新入社員の頃に勧誘され、月々30000円の生命保険に何となく加入した。その後、何度か保険会社から通知が来ていたが、よく読んだことはない。退職し改めて見ると、毎月3万円以上の保険料を支払っていることに気付いて驚いた。

生命保険には、一生同じ保障で保険料も変わらない「終身保険」と、一定期間だけ保障する「定期保険」があります。定期保険は期間が終了するときに更新すれば、健康状態が悪化しても同じ保障内容で契約を継続できる一方で、年齢が上がると保険料が高額になっていくという特徴があります。

更新前には保険会社から更新通知が届きますが、このとき契約者が何も連絡しなければ、多くの場合、自動更新されます。事例の相談者は、この自動更新

を繰り返した結果、知らないうちに保険料が加入時の何倍もの高額になっていました。

更新通知が届いたら、まずは更新後の保険料を確認しましょう。保険料が高いと感じたら、年金などの社会保障も考慮しながら保障額を見直し、無理なく支払える保険料を検討しましょう。

事例のように、若い頃に担当者に勧められ、漠然と生命保険に加入した人も多いかと思えます。例えば働き盛りに2000万円の保障を契約したとしても、年齢が上がリ、子供が成長するなど家族の状況が変化すると、必要な保障額は次第に減少していきます。保険会社に相談すれば保障額の減額や特約の見直しができる場合もあります。また、ある程度の貯蓄があれば、解約も選択肢の一つです。

高齢になり更新手続きを面倒に感じたときは、放置せずに家族に相談する機会を作りましょう。

困消費生活センター

TEL 6319・1000  
FAX 6319・1500